

BUNGAKUZA TSUSHIN 2021.2 Vol.738

文学座通信

- 本公演・地方公演『昭和虞美人草』……………1~4
- 『ガールズ・イン・クライシス』座内合評会を終えて
感染する排他主義をめぐって——中野志朗 …… 5
- 文学座アトリエ 補修工事 ご寄附御礼 …… 6~7
2020オンライン感謝祭ご報告
文学座支持会・パートナーズ倶楽部賞、同・新人賞発表
- アトリエ短信 ……………… 8



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

2/8(月)より
東京支持会会員
(A・B・Y・G・「文学座通信」購読)
前売開始!

【本公演】
文学座アトリエ
3月9日(火)~23日(火)



文学座公演
昭和虞美人草
作 馬キノノゾミ
演出 西川信廣
後援・新宿区

<お知らせ>

1月7日、首都圏1都3県に発出された緊急事態宣言を受けて
3月の本公演『昭和虞美人草』は、開演時間などを改めて見直し、
以下の点を変更させていただきました。

夜公演は、開演時間を19:00から17:00開演に繰り上げました。
1日2公演の日は、昼公演が12:00開演、夜公演が17:00開演に、
1日1公演の日は、昼公演は14:00開演のままを基本としています。
また、夜割公演の日は3月9日(火)と3月17日(水)に変更になりました。

1月号掲載の公演日時とは異なりますので、詳細はこの2月号4ページをご覧ください。

また、2月15日(月)に予定していた一般前売開始日については2月17日(水)に変更させていただきました。
尚、営業時間については緊急事態宣言解除となる2月7日(日)まで10時~17時に変更させていただきます。

「新型コロナウイルス感染症防止対策」については、刻々と変化する状況に応じ、
常にお客様の安全を考慮した上で細心の注意を払いながら公演を行ってまいります。
何卒ご理解くださいますよう、お願い申し上げます。

アトリエ短信

『五十四の瞳』が芸術祭賞演劇部門優秀賞受賞
 昨年11月本公演『五十四の瞳』が、令和2年度(第75回)文化庁芸術祭賞演劇部門の優秀賞を受賞しました。受賞理由は左記の通りです。

「瀬戸内海の小島にある朝鮮学校を舞台に教師、卒業生とその家族が立場の違いから時にぶつかり合いながらも我が道を模索して懸命に生きる姿を1948年から20年にわたって描き出した。日本の戦後を小さな島に凝縮させる作劇のうまさ」と松岡依都美、頼経明子、たかお鷹、山本道子ら俳優の個性を引き出す演出の冴えを感じた」。

松岡依都美が第55回紀伊國屋演劇賞個人賞受賞
 演技部の松岡依都美が、こまつ座公演『きらめく星座』(その妻ふじ)、文学座本公演『五十四の瞳』(康春花)の演技により個人賞を受賞しました。

鶴山仁が第62回毎日芸術賞受賞

演出部の鶴山仁が、舞台『リチャード二世』(新国立劇場)の演出とシェイクスピア歴史劇シリーズ完結により毎日芸術賞を受賞しました。

改名 演技部の金沢映子が金沢映美に改名しました。

退座 演技部の内堀律子が2020年12月31日付で退座しました。

オフアトリエ企画
 『SEVEN・セブン』
 &
 「岸田國士恋愛短編集」
 延期公演
4月上演決定

4月9日(金)～16日(金)
 於・文学座アトリエ

〈前売〉電話予約 3/5(金)
 WEB・メール先行 3/3(水)
 (支持会・一般同日発売)

今年新たな試みとなるオフアトリエ企画『SEVEN・セブン』と、昨年4月に上演する予定だった「岸田國士恋愛短編集」。新型コロナウイルス感染予防対策に細心の注意を払いながら上演いたします。客席数は70席程度となる予定です。

- ◇オフアトリエ企画
 ドラマティック・リーディング
 『SEVEN・セブン』
 水野玲子=演出
- ◇「岸田國士恋愛短編集」は
 三本立てとなります。
- ◆『恋愛恐怖病』
 小原まどか=演出
- ◆『チロルの秋』
 生田みゆき=演出
- ◆『命を弄ぶ男ふたり』
 五戸真理枝=演出

※出演者、予約方法、開演時間、入場料など詳細は次号にて。

文学座支持会へのお誘い

2020年文学座支持会(A・G・Y)会員の方は、21年の継続を希望される方もされない方も「2021年リーフレットおよび案内状」についている【支持会申込書】に希望番号をご記入の上、ご投函をお願いいたします。引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

附属演劇研究所本科(60期生)卒業発表会について

新型コロナウイルス感染症が蔓延している中、事態の収束が見込まれるまでは感染予防、拡散防止対応策として、客席数を大幅に制限せざるをえない状況にあります。この度の本科卒業発表会については一般予約を受け付けず、関係者のみの対応とさせていただきます。何卒ご了承ください。

今後の状況次第では公演日程の変更、中止を余儀なくされる可能性もございます。最新情報は文学座HPで随時お知らせいたします。発表会を楽しみにされていた皆様には改めてお詫び申し上げます。

◇本科昼間部卒業発表会
 宮本研=作 西本由香=演出

◇「からゆきさん」2月11日(木)～2月14日(日)

◇本科夜間部卒業発表会
 シェイクスピア=作 河合祥一郎=訳
 小林勝也=演出

◇「十二夜」2月18日(木)～2月21日(日)
 信濃町文学座アトリエ

◇プラチナクラス第11期生募集(詳細は文学座HPにて)
 プラチナクラス第11期生オーディション(2月28日)の応募書類の締め切りは2月15日(月) 郵送必着です。

出演情報

- ★ 栗田桃子：『岬のマヨイガ』(柏葉幸子原作<講談社刊>、詩森ろぼ脚本・演出) 2/6 宮古市民文化会館〔大ホール〕、2/9 盛岡劇場〔メインホール〕、2/11 二戸市民文化会館〔大ホール〕、2/13 久慈市文化会館〔大ホール〕、3/17～21 東京芸術劇場〔シアターウエスト〕
- ★ 石田圭祐、横田栄司、石橋徹郎、佐川和正、駒井健介、吉野実紗：『オスロ』(J・T・ロジャース作、小田島恒志・小田島則子訳、上村聡史演出) 2/6～23 新国立劇場〔中劇場〕ほか
- ★ 廣田高志：ミュージカル『屋根の上のヴァイオリン弾き』(ジョセフ・スタイン台本、シェルドン・ハーニック作詞、倉

- 橋 健訳、滝 弘太郎・若谷和子訳詞、ジェローム・ロピンス演出、寺崎秀臣日本版演出) 2/6～3/1 日生劇場、3/5～7 愛知県芸術劇場〔大ホール〕ほか
- ★ 林田一高、畑中咲菜(ゲスト出演=2/15・16 西村知泰、2/23 小林勝也・磯田美絵)：『短編戯曲祭<2020年の世界>』(23名の劇作家、川村毅・赤澤ムック・川口典成演出) 2/10～14、2/18～22 吉祥寺シアター
- ★ 南 一恵：朗読劇『おもかげ抄』(山本周五郎作)・『蜘蛛の糸』(芥川龍之介作) 2/11 千葉県文化会館〔小ホール〕
- ★ 得丸伸二：『聖地2030』(松井周脚本・演出) 2/11～21 彩の国さいたま芸術劇場〔小ホール〕 ➔ 公演中止

- ★ 采澤靖起：『僕の庭のLady』(アラン・ベネット作、芦沢みどり訳、河田園子演出) 2/17～23 赤坂RED/THEATER
- ★ 栗野史浩：『帰還不能点』(古川健脚本、日澤雄介演出) 2/19～28 東京芸術劇場〔シアターイースト〕ほか
- ★ 星 智也：『子午線の祀り』(木下順二作、野村萬斎演出) 2/21～27 KAAT神奈川芸術劇場〔ホール〕ほか
- ★ 鈴木弘秋：『ジレンマジレンマ』(古城十忍作・演出) 3/4～14 赤坂RED/THEATER
- ★ 浅野雅博、櫻井章喜：劇団ヒトハダ旗揚げ公演『僕は歌う、青空とコーラと君のために』(鄭義信作・演出) 3/4～21 浅草九劇